

有限会社 室田鉄工所

[業種] 機械部品加工業

事業
計画名

建設機械向け外装パネルの
製作工程一貫化及び新規受注獲得

- ◆代表者名 代表取締役 室田 和夫
代表取締役 室田 剛志
- ◆設立年月日 昭和62年5月
- ◆所在地 〒923-1205
石川県能美市宮竹町イ168
- ◆TEL 0761-51-2442
- ◆FAX 0761-51-2477
- ◆URL <http://www.muroda.co.jp/index.html>
- ◆E-mail muroda@muroda.co.jp
- ◆従業員数 37名(実習生10名)
- ◆資本金額 9000 千円



テーブル式スポット溶接機

事業に取り組んだ経緯・背景

室田鉄工所は溶接加工を軸に建設機械外装を主製品として操業してきました。その中で建設機械業界において小回りの利く外装パネル製作企業へ発展するため、スポット溶接工程が必須となりました。このスポット工程は自動車産業や配電盤パネル等に多く使われ建設機械の部品メーカーが持つことが無かった工程であり、このスポットを内製化することで、建設機械向け外装パネルの一環製作工程を構築することに取り組んだ。

事業内容

外装パネルの一貫製作工程の構築

今回弊社に補完するべきスポット溶接とは上下の端子を強く押し、電流を流して内部を溶解させる技術で、大型のパネル等では電極に圧力を加えるための間口が届かず、端部の加工は出来るものの、中央部分は加工が出来ずにいた。



製品例

そこにテーブル式スポット溶接機を弊社溶接工程に導入することにより、大型パネルの内側の場所まで最適な条件でスポット溶接を行うことが出来るようになった。また、片面がフラットなテーブルになった為、溶接時に出る裏側（製品としては表面）の脹らみの極少なくできた。それにより、弊社の得意分野である溶接加工と相まって外観品質の良い建機外装を一貫して製作することが出来る工場としてお客様に提供できるようになった。

事業の成果

これまで加工できなかったスポット加工が可能になり、また歪みが少ない高精度な面加工が実現できるようになった。製品にスポット加工費を上乗せができ製品単価が増加した。一方でスポットによる表面の仕上げ加工が増えず、一部品当たりの付加価値が増加した。

また、工場間の横持が無くなり移動による落下や紛失といった不具合が減ったのも大きかった。そして移動のリードタイムを削減でき、サプライヤー間でも工場在庫を減らすことができ Win - Win の生産方式が確立できた。

事業の現在の状況

スポット加工機の立ち上げも順調に終わり、製品の工程変更による製品試験も次々とクリアし、順次製造工程の移管が終わっている。

現在はメインターゲットの建機部品が好調で順調に受注を伸ばしている。また、取引先からの新規製品の受注もでき外装部品の引き合いも続いている。



加工例



社屋

[得意分野]

一般機械器具板金加工

[主要取引先]

株式会社 小松ウォール、株式会社 小松電業所、株式会社 クリエイト

[商品]

建機外装、間仕切り補強

[代表者からの一言]

元々の厚物溶接工場から薄物板金工場に成長し、現在は建機外装を主力とした製品展開をしています。技術面ではレーザー切断機、プレスブレーキ等、板金加工に必要な工程を取りそろえ、得意分野であった溶接加工をロボット化し、省力化を図り、品質の安定を実現しています。

現在は太陽光による発電を行い加工機も省エネルギー型に入れ替え脱炭素に取り組んでいます。



代表取締役 室田 剛志